

インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ: 報告数208件(前月比 0. 2、前年同月比0. 9)で、6月に入って激減し例年並の報告になりました。

※()書きは1ヶ月の報告数を定点数で割った値。以下同じ。

小児科定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が48医療機関から50医療機関に増えました。

(全体傾向)

報告数4, 547件(前月比 0. 8、前年同月比 1. 3)で、5月に微増しましたが、1月以降減少傾向が続いています。多くの報告疾患は減少に転じていますが、ヘルパンギーナ(前月比 4. 9、前年比 0. 8)、手足口病(前月比 3. 2、前年比 35. 4)が増加しました。手足口病の報告は2年前より少ないですが、前年比35. 4と増加しています。今後の流行に注意が必要です。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症: 報告件数10件(前月比 1. 4、前年同月比 5. 0)で、今年は1月から連続的な減少傾向を認め、例年並みの推移を示していましたが、6月は微増でした。
2. 咽頭結膜熱: 報告数113件(前月比 0. 9、前年同月比 1. 2)で、1月から減少傾向を示していました。5月は一気に増加に転じましたが、6月はやや減少しました。菊池(7. 4)からの報告が多いです。
3. A群溶連菌咽頭炎: 報告数355件(前月比 0. 6 前年同月比 1. 0)で、1月からほぼ横ばいで推移していましたが、5月はやや増加に転じるも6月は今年1月からの報告数並に戻りました。最近の3年間では報告数が多いまま推移しています。1歳～9歳に多い報告ですが、20歳以上でも報告されています。菊池(21. 8)、宇城(12. 5)地区からの報告が多いようです。
4. 感染性胃腸炎: 報告数1, 212件(前月比 0. 6、前年同月比 0. 8)で、1月から減少傾向が続き、5月は一時的に増加に転じましたが6月は減少してきました。報告数が多いのは6ヶ月～4歳ですが、幅広い年齢層の報告が見られます。菊池(52. 4)、山鹿(47. 0)からの報告が多いです。
5. 水痘: 報告数357件(前月比 0. 7、前年同月比 1. 9)で昨年11月から増加し始め、5月まで報告数が多かったですが、6月に入って減少しています。例年夏期に入って減少傾向を示してきましたが、これからの推移が気になるところです。乳幼児の報告が多く、予防接種の普及が望まれます。菊池(16. 2)からの報告が多いです。
6. 手足口病: 報告数1, 381件(前月比 3. 2、前年同月比 35. 4)で、4月から増加を認め5月、6月と急増しています。一昨年に比べると報告数は少ないですが、夏期に流行する疾患なので、今後の動向に注意が必要です。6ヶ月～3歳にピークを認める分布で報告されています。菊池(53. 8)、水俣(42. 5)、熊本(40. 3)からの報告が多いです。
7. 伝染性紅斑: 報告数5件(前月比 0. 4、前年同月比 0. 8)で、昨年から引き続き少数で推移しています。
8. 突発性発疹症: 報告数206件(前月比 0. 8、前年同月比 1. 0)で、例年通りの傾向でした。

9. 百日咳: 報告数0件(前月比 ー、前年同月比 ー)で、6月も報告はありませんでした。
10. ヘルパンギーナ: 報告数487件(前月比 4. 9、前年同月比 0. 8)で、今年は4月から増加傾向がみられ、6月に入って急増しています。例年同様の傾向です。菊池(19. 6)、八代(18. 0)からの報告が多いです。
11. 流行性耳下腺炎: 報告数35件(前月比 1. 0、前年同月比 0. 3)で、昨年から減少傾向が続いており、今年は更に少数のままで推移しています。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎: 報告数1件(前月比ー、前年同月ー) 熊本からの報告です。
2. 流行性角結膜炎: 報告数34件(前月比、前年同月とも0. 6)、地区別では熊本33件、天草1件です。年齢別では20～49歳で62%を占めています。ここ数か月多かった60歳以上の高齢者では減少しています。

STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症: 報告数 60件(前月比 1. 2、前年比 1. 4)で、前月比、前年比ともに増加しています。男女別は、男性19件、女性41件で、女性に多く見られます。年齢別は、男性は15～39歳に多く見られ、女性は15～34歳に多く見られます。地域別は、熊本が39件、次いで有明6件、御船、宇城各4件、菊池、八代各3件、人吉1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症:
報告数 23件(前月比 1. 0、前年比 2. 3)で、前月比は同数で、前年比は増加しています。男女別は、男性13件、女性10件でした。年齢別は、男性女性ともに25～70歳以上と幅広く見られます。地域別は、熊本が13件、次いで八代5件、有明、宇城各2件、御船1件でした。
3. 尖圭コンジローマ: 報告数 7件(前月比 0. 6、前年比 1. 2)で、前月比は減少し、前年比は増加しています。男女別は、男性3件、女性4件です。年齢別は、男性は20～34歳、女性は20～29歳に多く見られます。地域別は、御船、八代各2件、熊本、有明、宇城各1件でした。
4. 淋菌感染症:
報告数16件(前月比 0. 8、前年比 2. 7)で、前月比は減少し、前年比は増加しています。男女別は、男性12件、女性4件で、男性に多く見られます。年齢別は、男性は20～34歳に多く見られ、女性は15～24歳に見られます。地域別は、熊本が9件、次いで八代、有明各2件、菊池、宇城、天草各1件でした。

基幹定点

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎: 報告ありませんでした。

2. 無菌性髄膜炎: 1件(前月比 0. 3、前年比 0. 3)の報告がありました。熊本1件で、25～29歳:1件でした。
3. マイコプラズマ肺炎: 12件(前月比 0. 9、前年比 1. 0)の報告がありました。熊本1件、有明1件、天草10件でした。年齢は1～4歳:1件、5～9歳:3件、10～14歳:1件、15～19歳:1件、40～44歳:1件、55～59歳:1件、65～69歳:3件、70歳以上:1件でした。
4. クラミジア肺炎: 報告ありませんでした。

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症:
21件(前月比 0. 8、前年比 0. 4)の報告がありました。熊本9件、山鹿2件、阿蘇1件、八代5件、水俣2件、人吉1件、有明1件でした。年齢は1～4歳:2件、55～59歳:1件、60～64歳:1件、65～69歳:2件、70歳以上:15件でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症:
2件(前月比1. 0、前年比-)の報告がありました。熊本2件で、70歳以上:2件でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症: 1件(前月比-、前年比-)の報告がありました。熊本1件で、70歳以上:1件でした。
4. 薬剤耐性アシネトバクター感染症: 報告ありませんでした。

届け出対象感染症

- 1類感染症: 報告はありませんでした。
- 2類感染症: 結核:32件
- 3類感染症: 細菌性赤痢:1件
腸管出血性大腸菌感染症:1件
- 4類感染症: 重症熱性血小板減少症候群:1件
日本紅斑熱:3件
レジオネラ症:2件
- 5類感染症: アメーバ赤痢:3件
クロイツフェルト・ヤコブ病:1件
侵襲性肺炎球菌感染症:3件
梅毒:1件
風しん:4件